

学校教育目標「誠実・健康・努力」

不撓不屈



釜石市立唐丹中学校

〒026-0121

釜石市唐丹町字小白浜 314

TEL:55-2106 FAX:55-2667

あと2か月で中学生！！

1月31日(金)午後、新入生説明会、体験授業を行いました。また、これに先立ち1月27日(月)には6年生児童が中学校の授業を見学しました。児童たちは、真剣な表情で授業を見学し、楽しく授業体験をする中で、小学校との違いを感じ、4月からの生活のイメージを持つことができたのではないかと思います。「授業が楽しかった」、「中学校ではダメなことがわかった」、「入学が楽しみ」といった感想も聞かれました。

保護者説明会では、校長から2つお願いしました。1つ目は「心の港となる温かい家庭環境づくり」です。心身ともに不安定である中学生の時期に、勉強や部活動に一生懸命に取り組み、安心して学校生活を送るための支えとなる家庭であってほしいと思います。2つ目は「家庭でのスマホのルール作り」です。情報機器(特にスマホ)使用に関して、便利さの裏に潜む危険についてよく知り、生徒が自分でコントロールしながら使用できるようになってほしいと思います。この2つは、現在の中学生が入学する際にも唐丹中学校からお願いしていたことです。これからも子どもたちの健全育成のために、これからも家庭と学校が手を携えていきたいと思っています。



授業見学



説明会

1回の使用でも乱用 レッドカード！

1月28日(火)、学校薬剤師の石田昌玄(中田薬局)先生を講師にお招きし、「薬物乱用防止教室」を開催しました。本校では2年に1回、全校生徒を対象に開催しています。

今年のテーマは3つ

- ・大麻の間違った情報に惑わされないようにしよう！
- ・カフェインや薬を過剰摂取することの危険性
- ・薬物乱用を避けるために大切なこと

薬物乱用というと大麻や覚せい剤等の危険(違法)薬物ばかり考えがちですが、私たちの身の回りに普通にある「市販薬」や「飲み物に含まれているカフェイン」についても話していただきました。生徒たちは真剣に聞き、積極的に質問をしていました。そして、どこか違う世界の話ではなく、自分のこととして考えることができていると思います。

薬物依存になると脳にダメージを受け、元に戻らないそうです。『1回の使用でも乱用！(レッドカード)』をしっかり心に刻み、薬物の正しい使用を心がけていきたいものです。



スマホとテストの成績の怖い関係

家でいくら勉強をしてもテストの点が上がらないと悩んだり困ったりしている生徒はいないでしょうか？

スマホの使用時間とテストの成績に相関関係があることが東北大学の研究で実証されています。この研究によると、スマホの使用時間が長いほどテストの成績が下がっています。何と、3時間以上の使用で平均点をとれた子は0%でした。

スマホを長時間使用することによる学習時間の不足や睡眠不足のため集中力の低下が原因と思われるかもしれませんが、そうではありません。学習しても効果が現れないということです。原因として、長時間のスマホ使用が学校で覚えた記憶を消してしまっている可能性が指摘されています。また、脳そのもの、特に前頭前野(考える、意欲、コミュニケーションをつかさどる)、海馬(記憶や学習をつかさどる)の発達にも悪影響を及ぼし、学習効果が上がらないことも考えられます。

スマホを使用している間は、脳が活発に動いていないとも言われています。そもそもスマホを含めコンピュータは、悪い言い方をすれば人間が手抜きをするために作られたツールなので、それも当然ですね。便利な道具は使い方次第で、益にも害にもなります。スマホの使い方を見つめ直してみましょう。

